

Point.1

フワフワとした肌触りで
ベビーキャメルはカシミア
に匹敵する細さの天然繊維です。

★海外のトップメゾンブランド
も使用する糸メーカーの
ベビーキャメル100%の糸を使用。



ベビーキャメルの繊維の織度は $16\mu\text{m}$ ~ $18\mu\text{m}$ と言われております。
カシミアの繊維の織度は $15\mu\text{m}$ ~ $19\mu\text{m}$ と言われております。



Point.2

吸湿性・発散性に優れている繊維のため
人の体温に合わせて温度調整をするので

“温度調整をする天然繊維”

と呼んでいます。

多孔質繊維

毛の断面に小さな穴があることで
空気を含みやすく他の動物繊維よりも
保温性と発散性に優れています。

ベビーキャメルの繊維の繊度は $16\mu\text{m}$ ~ $18\mu\text{m}$ とされており

カシミアの繊維の繊度は $15\mu\text{m}$ ~ $19\mu\text{m}$ とされており

Point.1

フワフワと肌触りで
ベビーキャメルはカシミア
に匹敵する細さの天然繊維です。

★海外のトップメゾンブランド
も使用する糸メーカーの
ベビーキャメル100%の糸を使用。



ベビーキャメルの繊維の繊度は $16\mu\text{m}$ ~ $18\mu\text{m}$ と言われております。
カシミアの繊維の繊度は $15\mu\text{m}$ ~ $19\mu\text{m}$ と言われております。

Point.2

吸湿性・発散性に優れている繊維のため
人の体温に合わせて温度調整をするので
“温度調整をする天然繊維”
と呼んでいます。

多孔質繊維

毛の断面に小さな穴があることで
空気を含みやすく他の動物繊維よりも
保温性と発散性に優れています。

ベビーキャメルの繊維の繊度は $16\mu\text{m}$ ~ $18\mu\text{m}$ と言われております
カシミアの繊維の繊度は $15\mu\text{m}$ ~ $19\mu\text{m}$ と言われております



Point.1

フワフワとした肌触りで
ベビーキャメルはカシミア
に匹敵する細さの天然繊維です。

★海外のトップメゾンブランド
も使用する糸メーカーの
ベビーキャメル100%の糸を使用。



ベビーキャメルの繊維の繊度は $16\mu\text{m}$ ~ $18\mu\text{m}$ と言われております。
カシミアの繊維の繊度は $15\mu\text{m}$ ~ $19\mu\text{m}$ と言われております。

Point.2

前後差ヘムラインで
後ろが長めなのでヒップを隠せます!



キヤメルとベビーキヤメルの特徴

【キヤメルについて】

キヤメル(ラクダ)は年に一度、晩春の頃に生え替わる毛を集めます。

またキヤメルは、他の獣毛に比べて生産量が非常に少ないため

欧州では希少で高価な原料とされています。

【キヤメルの繊維について】

キヤメルの毛は多孔質繊維で繊維の中央に多くの穴が空いています。

そのため、空気を含みやすく、ほかの獣毛に比べて保温性に優れているのが特徴です。

また、繊維の比重も軽くて柔らかいため、肌触りが滑らかで弾力性があります。

また多孔質繊維のラクダの毛は、吸湿性と発散性に優れており

「温度調整をする天然繊維」とも言われています。

・キヤメルの平均繊維直径(織度): $16\mu\text{m} \sim 24\mu\text{m}$

・ベビーキヤメルの平均繊維直径(織度): $16\mu\text{m} \sim 18\mu\text{m}$

*カシミヤの織度は $15\mu\text{m} \sim 19\mu\text{m}$ とされています。

【ベビーキヤメルの特徴】

ベビーキヤメルは生後2年未満の子供から取れる毛を集めたものです。

一頭につき一生に一回しか取ることが出来ないとても貴重な毛になります。

ベビーキヤメルの毛は非常に毛が細く、軽くて柔らかい、大人のキヤメルよりも

保温性に優れている上質な素材です。